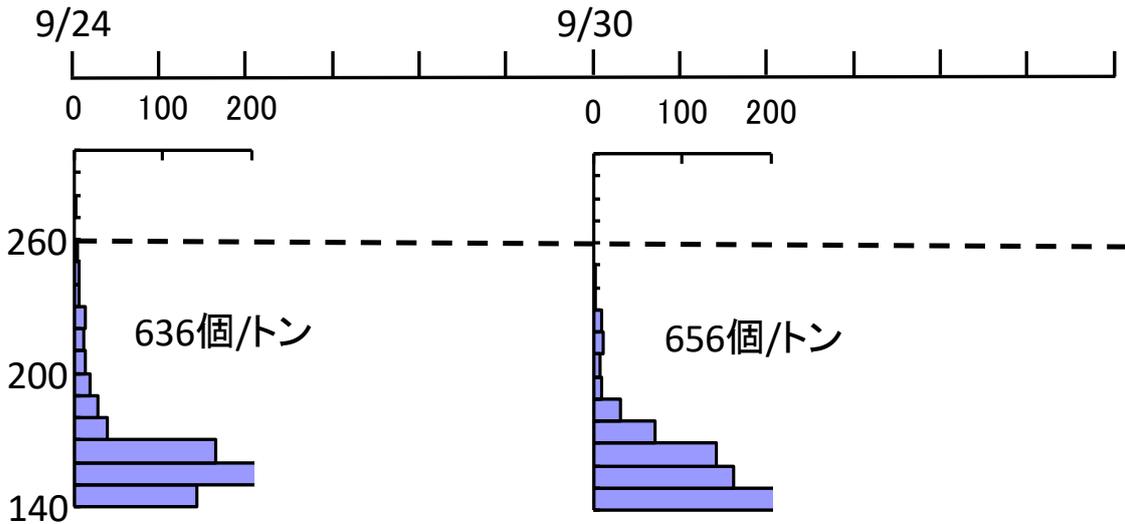


◎サロマ湖付着生物ラーバ出現状況

9月30日にサロマ湖4地点で付着生物のラーバ調査を行いました。

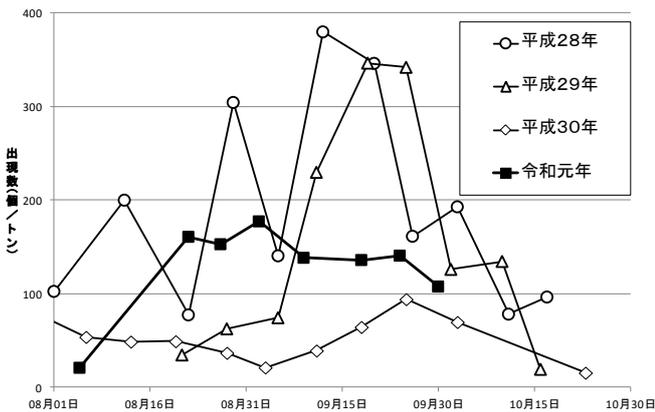
その結果、イガイ（シュリガイ）ラーバは140～170ミクロンの小型個体を中心に平均で656個/トン出現しており、前回（636個/トン）と同様の状況でした。付着サイズのラーバはみられませんでした。

イガイラーバの殻長組成変化



ホヤ類（エボヤ、ユウレイボヤ、ザラボヤ）のラーバは平均で108個/トン出現しており、前回（141個/トン）よりやや減少しましたが地点によってばらつきがみられました。

ホヤ類の出現状況



付着物ラーバの出現状況

	St. 1	St. 4	St. 5	St. 8	平均
140 ~ 150	58.4	207.3	498.7	134.5	224.7
150 ~ 160	22.5	140.1	289.2	179.3	157.8
160 ~ 170	62.9	134.5	209.5	145.7	138.1
170 ~ 180	22.5	50.4	79.8	123.3	69.0
180 ~ 190	13.5	0.0	39.9	67.2	30.2
190 ~ 200	13.5	0.0	0.0	22.4	9.0
200 ~ 210	13.5	0.0	0.0	11.2	6.2
210 ~ 220	13.5	5.6	0.0	22.4	10.4
220 ~ 230	4.5	5.6	0.0	22.4	8.1
230 ~ 240	4.5	0.0	0.0	0.0	1.1
240 ~ 250	4.5	0.0	0.0	0.0	1.1
250 ~ 260	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
260 ~ 270	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
270 ~ 280	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
280 ~ 290	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
290 ~ 300	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	233.5	543.5	1,117.1	728.4	655.6
200μ m以上	40.4 17.3%	11.2 2.1%	0.0 0.0%	56.0 7.7%	26.9 4.1%
260μ m以上	0.0 0.0%	0.0 0.0%	0.0 0.0%	0.0 0.0%	0.0 0.0%
ホヤ類	20.2	92.5	136.0	182.2	107.7

付着物ラーバ関連調査地点図

